

六角川・松浦川水系で、河川合同巡視開催！！
”出水期に備え総勢160名で危険箇所・重要水防箇所を確認しました。”

出水期が来月に迫った、5月10日11日の2日間にかけて、国で管理する六角川水系及び松浦川水系の重要水防箇所、危険箇所等の合同巡視を実施しました。

この河川合同巡視は、毎年出水期を前に国の管理する直轄区間について、水防時に適切で迅速な対応が取れるように管内の重要水防箇所等を巡視し、水防対応策等の確認を行うものです。

当日は、地元自治体、防災エキスパート、NPO等など約160名の参加のもと、3グループに分かれ、各出張所管内の重要水防箇所や必要な水防工法の紹介、また、水防時に必要な資機材、備蓄土砂の配置場所の確認などを行いました。また、今回は昨年度管内の危険箇所へ設置した洪水の危険度を表すレベル度表示の説明を盛り込み、避難等の判断に役立ててもらおうよう紹介しました。

今回の合同巡視で、地元をよく知る消防団などからは、昔からの水害常襲箇所の情報を提供頂くなど、更なる連携強化と情報共有が図られました。



危険箇所箇所説明(相知町久保下牟田部樋管)



危険箇所箇所説明(伊万里市南波多町古里橋)



重要水防箇所説明(白石町JR六角橋梁付近)



重要水防箇所説明(白石町住ノ江橋付近)

合同巡視風景